

第170号 2017年12月20日

〒110-0003 東京都台東区根岸 4-11-10
東自教労組内

Tel 03-3871-6470 fax 03-3871-6473

E-mail tdu@toujikyو.or.jp

全国自教労組 共同ニュース

箱根・ホテルおかだに、全国から33人が参加

第11回全国交流集会を開催

自動運転の教習カリキュラムが課題



12月3～4日、箱根ホテルおかだに東京・埼玉・千葉・京都・大阪から総勢33名が参加し第11回全国交流集会を行いました。

主催者挨拶で津田議長は、自動運転がすごい勢いで進化し導入されようとしている。自動運転の実用化は必ず教習カリキュラムの見直しという形で教習所運営に影響してくる。教習所業界は安全運転を教える産業であり、将来、自動運転が実用化されても自教労働者が考える安全運転教育を実施していく必要がある。私たちの制度政策要求を実現させるためには、自教労働者の全国

結集を実現させて、関係省庁や議員連盟に働きかけを行っていかねばならない。

この二日間を有意義な時間として貰いたいと述べました。



主催者挨拶する津田議長



第1講義 北尾副議長
 (京自教労組 委員長)
 【共同センター結成と制度政策要求闘争を
 振り返って】



第2講義 細川幹事 (日通労組 委員長)
 【今後の制度政策要求について】

基調講演要旨

共同センターが何年もかけて要請してきた内容が、長期ビジョン研究会でも同様の議論がなされている。これは全国の自教経営者の世帯交代が進み同じ問題意識・危機感を感じているのではないかと。

警察庁交渉にも要請交渉に行っているが、自主経路がいつの間にか検定から外されている。高速教習の成立要件も不十分ながら改善された。そのような事を見ても共同センターの声は少なからず関係省庁に届いている。

自動運転の研究が急速に進んでいる。我々の仕事に影響があるのはレベル4が普及するころ。現行のカリキュラムが改正される事が考えられることから研究し要求を組み立てていく必要がある。

当面の営業収入を確保するためには、企業者教育に取り組むなど、免許保有者の再教育が必要と考えている。以前、全指連に再教育の制度を確立するよう要請に行った事がある。それがきっかけか分からないが、ブラッシュアップ講習が提案されている。メリット制の導入や価格設定の見直しが必要だが再教育としての提案はよい。



A分散会



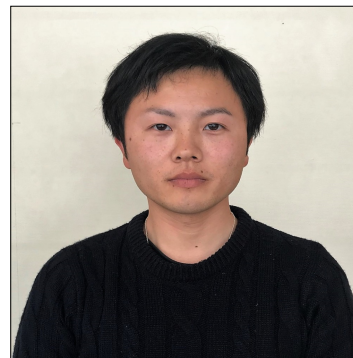
B分散会

分散会報告要旨

高速教習の成立要件の規制緩和が行われたが、実態に合っていない。更新時講習は業務拡大の一環、粘り強く交渉を行って欲しい。特別項目を増やして欲しい。

自動運転の導入予測時期は様々な意見があった。カリキュラム改正時には、自動運転から運転者による危険回避を行わせてはどうか。

障害者教育の取り組みや安心パックが当たり前の時代で、時短の進め方などの意見交換がなされました。



大自教 高槻分会 田尻裕樹



大自教労組 高槻分会 萩原 隆幸

初めて交流集会に参加させて頂きました。「労働組合の交流集会」と聞くと、賃金上げろ！職場環境の改善！と思いがちでしたが、実際はそうではなく、今後の各教習ひいては教習所業界全体をいかに盛り上げ発展させ社会貢献していくかに終始しました。

具体的には①自動運転と将来の教習、②最新の車両に対する知識理解と教習、③高速教習の成立要件について、④義務教育の中で専門家として参入する、⑤社会福祉と教習（高次機能障害の方、医療機関や警察との連携）、⑥教習時間の短縮、⑦組織拡大と各都道府県公安委員会との交渉など、様々な切り口からもの見方を考えることが出来た。

経験豊かな座長のもと、大変勉強になった分散会でした。自分の職場に持ち帰り今後の発展につなげていきます。

全国交流集会に初参加させていただきありがとうございました。右も左も分からないままの参加でしたが、皆様に気さくに声をかけていただきとても助かりました。

A・Bチームの2チームに分けた分散会では、他の教習所の現状や問題点、自動運転などについて意見交換しました。

特に自動運転については難しい課題だと思いました。自動運転のレベルにもよりますが、自動運転がはじまってしまうと教習時間が短くなってしまう可能性があります。もし、教習時間が短くなれば教習料金を下げなければならないかもしれません。そうなれば私達の収入も減少になります。

教習時限を短くせず自動運転を始めるのはかなり難しい課題です。これからもこのような課題についても皆さんの知恵や意見を出し合って労働条件を守っていきたいです。

「TOYOTA Concept-i」
RIDE
自動運転+人工知能



東京 新東京支部 栗原慎吾

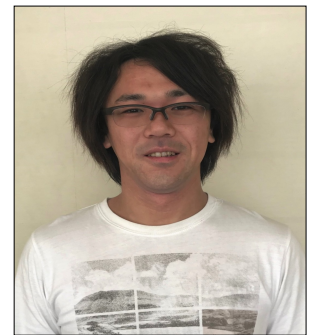
今回初めて交流集会に参加させていただき、講義や分散会において有意義な交流ができました。今後自動運転が普及していくにつれて教習所はどのように係わっていくのか、教習時間が短縮されて収益が落ちるようなことがあってはならない、自動運転の注意点などを説明、体験するような項目を追加していくのがよいのではないかなど意見がありました。また運転技量の伴わない教習生に対して無理に延長教習を行わず時間を短縮していくことや、安心パックの問題点について話し合いました。2日間感じたことは、参加者のみんなが教習所はこのままではいけない、安全で優良な初心運転者の育成と地域の交通安全センターとしての役割を2本柱として他にも業務拡大を図っていくことが重要だと思いました。そのためにも労働者みんなが1つとなり教習所業界の今後の発展や労働環境の改善、生活環境の改善に努めていくことが必要です。



京都 光悦分会 新本 怜司

2日間を通して教習所の今後の制度、政策要求について色々と意見が出ましたが、教習所によってさまざま、教習が終わっても、生徒とツーリングをして、フェイスブックでアピールし集客につなげたり二輪限定、苦手だった駐車等は、昼休みを利用して取り組む教習所があったりと色んな意見が飛び交いました。

それから、今後の自動運転化について、教習所業界はどうして生き残るのかみなさんの知恵を出し合い考えました。初めての交流会を参加させていただいて本当に意味のあった時間だったと思いました。



東京 小金井 石井利弥

今回初めて共同センターに参加させていただいて、普段聞くことが出来ない他地方の現状や意見などを聴けていろいろ参考になりました。共同センターの歴史や今後の制度について講義していただき勉強になることが多かったです。分散会では各所の抱えてる問題やこれからの自動運転導入についてや教習カリキュラムについて考えなければいけないことが多くいろいろなことを勉強していかないといけないなと思いました。2日間ありがとうございました。



